



長野県流域下水道

下水熱ポテンシャルマップを公表しました

下水道管を流れる下水の水温は、大気に比べ年間を通して安定しており、冬は暖かく、夏は冷たいという特徴があります。この温度差の熱エネルギーを下水熱といいます。県では、流域下水道管に内在する下水熱の利用促進を図るため、賦存量や存在位置を「見える化」した流域下水道下水熱ポテンシャルマップを作製しました。流域下水道管に近接する事業者等の皆様は、下水熱利用の検討ツールとしてご活用ください。

1 ポテンシャルマップ

各地点ごとに、下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合のポテンシャルとして色分けし、地図上に示したものです。

●ポテンシャルマップは長野県ホームページに掲載しています。以下よりご覧ください。

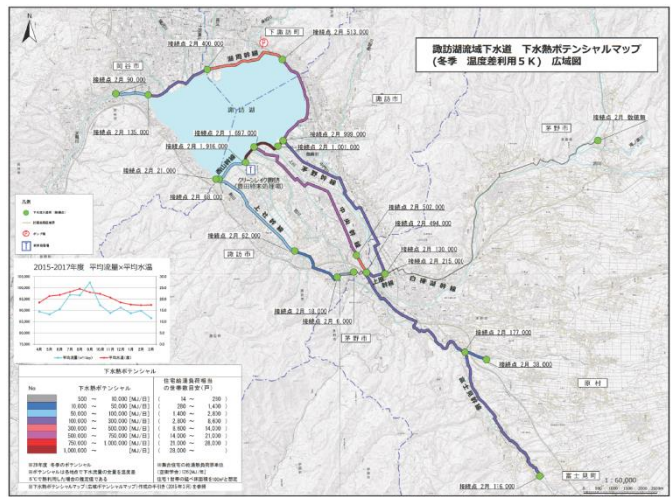
<https://www.pref.nagano.lg.jp/seikatsuhaisui/kensei/soshiki/soshiki/kencho/haisui/index.html>

2 作製箇所

- ・諏訪湖流域下水道
- ・千曲川流域下水道（下流処理区）
- ・千曲川流域下水道（上流処理区）
- ・犀川安曇野流域下水道

3 下水熱の活用例

- ・冷暖房、給湯、消融雪、ボイラー等
- ・平成30年4月から、諏訪赤十字病院で下水熱利用の開始
(諏訪湖流域下水道)



下水熱ポテンシャルマップの例（諏訪湖流域下水道）

4 下水熱の活用効果

下水熱を活用することにより、化石燃料の消費量の削減に繋がります。その結果、省エネルギーやCO₂排出抑制による地球温暖化防止の効果が期待されます。

国内最大級の花と緑のイベント 信州初開催！



第36回全国都市緑化信州フェア

信州花フェスタ2019

～北アルプスの贈りもの～

2019年4月25日（木）～6月16日（日）

メイン会場 長野県松本平広域公園

サブ会場 国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区/大町・松川地区)

長野県烏川溪谷緑地

環境部 生活排水課 流域下水道係
 (課長) 清水 修二
 (係長) 松尾 英樹 (担当) 河野 博和
 電話 026-235-7320 (直通)
 F A X 026-235-7399
 E-mail seikatsuhaisui@pref.nagano.lg.jp